

競技注意事項

1. 本大会は、2022年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合せ事項によって実施する。

2. 競技場の開閉門時間について下記のとおりとする。

・開門日時：6月19日（日）10時00分

・閉門日時：6月19日（日）19時30分

※競技役員以外の競技場への全ての出入りについては、100mスタート裏のゲートを用いる。

3. 新型コロナウイルス感染症への対策について

➤本競技会は、入場の際には入場許可証の提示を義務付ける。※観客は別紙を参照する事。

➤更衣室は利用可能だが、待機場所としての利用は認めない。更衣のみの利用とする事。

➤必要に応じたマスク着用、フィジカルディスタンスの確保に努め、手洗い、手指消毒を励行する事。

➤本競技会における主催者配布の別アスリートビブスならびに腰ナンバーは、全て使い捨てとする。

➤その他、本競技会は日本陸連の示す陸上競技再開のガイダンスを基に運営する。

4. 受付、招集について

【チーム受付】

➤100mスタート裏のゲート（第4コーナー）に受付を設ける。

➤受付の流れについて

1) チーム代表者1名は別に示す『体調確認申告書』に、所属チームのエントリー人員の体調について、問題が無い事を記載し提出する。

2) 代表者はプログラム、入場許可証を受け取る。競技場への入場時には入場許可証を提示する事。

【招集（一次、二次）について】

➤一次招集は、第1コーナー（緑テント下）付近にて行う。

※代理も可とする。

➤二次招集は、各種目競技開始場所（現地）とする。

※選手本人にて最終コールを受ける。

➤招集に関する時間は、その競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	一次招集開始時刻	一次招集完了時刻	二次招集開始時刻
トラック競技	100mのみ： 90分前 その他の種目：120分前	30分前	現地 10分前
フィールド競技	120分前	60分前	現地 30分前

【注意】 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとみなす。

5. アスリートビブスについて

➤100m、400m、1500m、フィールド競技の出場者は、各自で都道府県陸協登録のアスリートビブスを使用する。

➤腰ナンバー【シール仕様】（フィールド競技除く）は、1次招集時に配布する。

➤3000m、5000mの出場者は、別アスリートビブス（胸・背）を1次招集時に配布する。

➤アスリートビブスがない場合は番号布を販売（1セット 300円）するので、各自で作成すること。

6. トラック競技について

- 全てタイムレースとし決勝は行わない。
- 欠場者が多い場合は、組み換えを行う場合がある。
- 下記の時間を超えて最終周回に入っていない場合には、競技を打ち切る場合がある。
 - ・ 5000m・・・男子16分00秒/女子17分30秒
 - ・ 3000m・・・男子9分30秒/女子11分00秒
- 3000m、5000mについては熱中症対策の為、給水を準備する。

7. フィールド競技について

- ・ フィールド競技の試技は、プログラム記載順とする。
- ・ 試技の回数は、3回とする。
- ・ 跳躍競技の競技者のナンバーカードは、背または胸につけるだけでもよい。
- ・ 試技時間については 2022 年日本陸連競技規則を適用する。

8. 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

	男子	女子
練習	1.60-70-80-90	
試合	1.60-70-75-80-85-90-95- 2.00-05 以降3cmずつ上げる	1.35-40-45-50-55-60-65- 70-75 以降3cmずつ上げる

※上記以外の高さについては、協議のうえ審判長が決定する。

9. 競技用器具について

競技用器具は競技場備付けのものを使用する。但し、「やり」については各人所有の物を検査の上使用できる。なお、検査は競技開始 1 時間前に、ゴール寄りの器具庫前で行う。

10. その他

- ・ 使用するスパイクのピンの長さは9mm以下、走高跳・やり投は12mm以下を使用すること。
 - ・ シューズ靴底の厚さはWA規則第143条TR5：シューズに関するルール再改定部分を適用する。
 - ・ 貴重品類は各自で責任を持って管理すること。盗難、紛失について主催者は一切の責任を負わない。
 - ・ 競技会開催中の傷害事故については、救護室にて応急処置のみ行う。
 - ・ 記録は掲示せず、速報サイトにて発表する。関西連盟HPにURLを掲載する。
 - ・ 記録証交付を希望する競技者は大会本部に 500 円を添えて記録証交付願を提出すること。
 - ・ 使用した場所は、各自各団体に責任もって清掃し、美化に努めること。
- ゴミは各自、持ち帰ること。

☆不適切な撮影（迷惑撮影・盗撮等）の防止に向けて☆

➢一眼レフカメラ、ビデオカメラについては利用にあたり申請が必要となります。

撮影許可希望者は競技場入口にて許可を受けて下さい。

撮影許可証を発行しますので、撮影時には必ず着用し撮影ください。発行料は無料です。

但し、本大会中に撮影が許可されるのは下記の該当者に限ります。

- ①大会本部より許可された報道関係者（ビブス着用）
- ②大会出場学校、チームの関係者
- ③当該選手の保護者、家族等
- ④大会事務局

※盗撮等の迷惑撮影が疑われる場合には、巡回している競技役員・大会役員がお声がけする

ことがあります。その際、撮影画像の確認を求める事がありますが、応じていただきますようお願いいたします。盗撮が確認された場合、直ちに警察へ通報いたします。